

三井不ら エネ管理システム開発 柏の葉スマートシティに導入

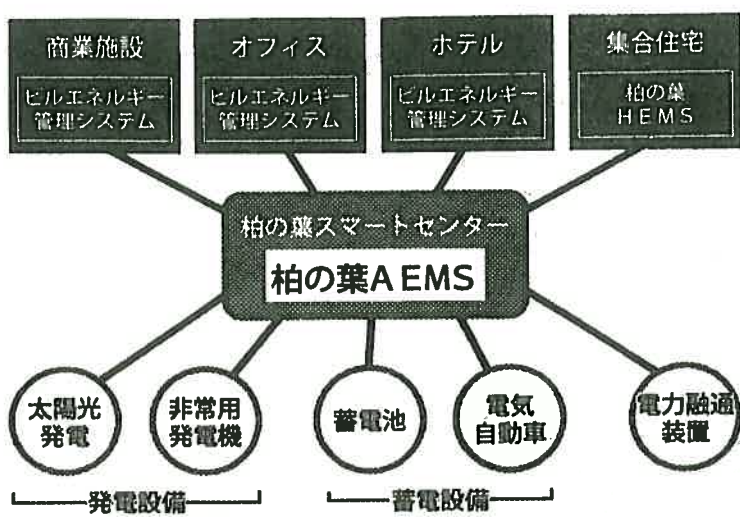
三井不動産、日建設計、日立製作所、シャープの4社は、千葉県柏市の柏の葉スマートシティで使われるエネルギーを運用

・監視・制御する「柏の葉AEMS」システム
図1と、住戸内で使用されるエネルギーを管理する「柏の葉HEMS」を開発し、5月中旬から段階的に運用を開始する。

「柏の葉AEMS」は、日立製作所、三井不動産、日建設計が共同開発したエネルギー管理システム。柏の葉スマートシティにあるオフィ

スや商業施設、ホテル、住宅などの各施設と、太陽光発電設備や蓄電池などの電源設備をネットワークでつなぎ、街全体で使われる電力を効率的に融通し、電気料金や二酸化炭素(CO₂)の削減、災害時の電力維持を実現。

能になる。柏の葉スマートシティ内の賃貸住宅「パークアクス柏の葉」(総戸数145戸、5月入居開始予定)に導入する。



「柏の葉AEMS」は、日立製作所、三井不動産、日建設計が共同開発したエネルギー管理システム。柏の葉スマートシティにあるオフィ

スや商業施設、ホテル、住宅などの各施設と、太陽光発電設備や蓄電池などの電源設備をネットワークでつなぎ、街全体で使われる電力を効率的に融通し、電気料金や二酸化炭素(CO₂)の削減、災害時の電力維持を実現。

「柏の葉HEMS」は、シャープと三井不動産が開発した住宅向けのエネルギー管理システム。柏の葉AEMSと連携させることで住戸内のエネルギー使用状況の把握や、家電機器の制御などが可能になる。